

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立袋井特別支援学校 P T A					
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	36人				

1. 使用状況

寄贈物品名	スヌーズレン用品
使用学年及び人数	小学部・中学部・高等部(肢体不自由教育+訪問教育)36人
使用頻度	集団学習(2ヶ月/年、個別学習・学級活動等(10回/月))
使用状況	<p>○肢体不自由教育の集団学習(自立活動)の光遊びの単元で使用した。</p> <p>○視覚障がいがある児童生徒の個別学習で使用している。</p> <p>○学級活動等のリラックスタイムとして使用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>○心理的な安定: 心地よい光や音、振動、香りなどの刺激により、表情が穏やかになったり、筋緊張が緩んだりする様子が見られた。</p> <p>○視覚障がいがある児童生徒が光を見る(注視)姿が見られた。</p> <p>○リラックス効果により、情緒が安定した、常同行動が抑制されたなどの変化があった。</p>
今後の活用の見通しや課題	○現在、学校の空き教室がなく、常設できる教室がありません。R9年度、磐田市に新しい学校ができ、教室数に余裕ができればスヌーズレン部屋をつくり活用を検討していく。
その他希望や所感など	○児童生徒が安全に光に触れることができるため、主体的な動きを引き出すことができます。

2. 活用の様子

- 光に対して視線を向け、自分から手を伸ばして触れる様子。
光が変化するとそれに気づき笑顔も見られました。



- 視覚障がいがある児童が光に気付いて動きを止めて見つめている様子。



- リラックスして光を見たり、手を伸ばして光に触れたりしている。
常に動きがある生徒が力が抜けてリラックスしている様子。

